

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	子育て・青少年の育成	[方向性] 放課後子ども教室の取り組みそのものなので、協力・拡充していく。(対象年齢の引き上げ)		1 9 子どもの居場所・集いの場づくり ⇒子どもの居場所・集いの場づくり事業	○	○	○		
		案1 豊かな体験づくり 案2 子どもが元気なまちづくり	基本方針案が2つ候補がありました。	[実施内容] ・クラブ活動の実施など(音楽・スポーツ) ・屋外活動 ・高齢者と子ども達の振り合いの場としても有効	(千円)	(千円)	(千円)		
		[場所] ・中木戸公園の活用 ・大小学区すべての公園を対象		2 0 公園を活用した外遊びの推進 ⇒公園を活用した外遊びの推進事業	(千円)	(千円)	(千円)		
		青少年の定義?	(1) 青少年の居場所づくりと育成支援	[内容] ・花あそび ・体を動かす ・芸術・文化の視点	(千円)	(千円)	(千円)		
				[手段] ・係がビブス着用で、ベンチで監視・見守りを行う	(千円)	(千円)	(千円)		
		抽象的で対象がとらえにくく、本来は、基本方針や教育目標では?ということで事業化できない。(決定)		2-1 自ら考え行動する子どもの育成	(千円)	(千円)	(千円)	⊖	
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		

委員名

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 青少年の居場所づくりと育成支援

- ⑨子どもの居場所・集いの場づくり 【事業名】子どもの居場所・集いの場づくり事業 ⇒ 令和3年度から実施する
 - ・放課後子ども教室の取り組みそのもの ⇒ 拡充(対象年齢の引き上げ) ←放課後子ども教室に協力してもらう
 - ・青少年とは? [児童・生徒]? [25歳まで]?
 - ・高齢者と子ども達とのふれあいの場としても有効
 - ・屋外活動
 - ・クラブ活動(音楽・スポーツ)の実施など

⑩公園を活用した外遊びの推進 【事業名】公園を活用した外遊びの推進事業

- ・中木戸公園の活用⇒大小学区のすべての公園を対象 ・保護者としては、子どもの安心安全が確保されると助かる
- ・花あそび ・体を動かす ・芸術・文化の視点 ・独居老人と子どものふれあい
- ・係がベンチにいて、ビブス(見守りベスト着用)で分かるようにする。 ・責任は取れないが、監視、見守りをする。

⑪自ら考え行動する子どもの育成

- ・対象がとらえにくい(抽象的) ・本来は、基本方針では? ・教育目標では? ⇒ 事業化できない(決定)

[基本方針]

- 案1 豊かな体験づくり
- 案2 子どもが元気なまちづくり

[実施時期と予算]

- ⑨は令和3年度より実施
- ・ビブスはまち協全体で用意する。⇒他のビブスと差別化(フリーサイズで用意) ⇒全体会議で提案する

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	福祉・健康づくり	「22日常生活支援事業」と名称変更し、仕組みづくりは実施内容として取り組む。また、「23見守り体制の充実」についても、仕組みづくりの一環として22の事業に含める。	(1) 高齢者の日常生活を支える体制づくり	22 日常生活支援の仕組みづくり ⇒日常生活支援事業	(千円)	(千円)	(千円)		
				23 見守り体制の充実 ⇒22の実施内容として含む	(千円)	(千円)	(千円)	⊖	
				[実施内容] ・アンケートの実施(困りごとの把握) ・アンケート結果に対する対応(自分たちでできることと他へつなげることをお知らせする) ・パンフレットの作成 ・仕組みづくり、体制づくり ・見守り・パトロールの連携 ・お元気ですかコール	(千円)	(千円)	(千円)		
				24 スポーツ・運動・体操を通じた健康づくり ⇒事業名未検討	(千円)	(千円)	(千円)		
				25 健康サークルづくり ⇒24の実施内容として、ONスポーツ活用	(千円)	(千円)	(千円)	⊖	
				[実施内容] ・楽トレ体操実施、ラジオ体操のお誘い ・ONスポーツクラブへの参加、紹介、お誘い ・心の健康に関すること	(千円)	(千円)	(千円)		
1からサークルを作るのではなく、ONスポーツクラブや既存サークルに参加、紹介、お誘いという形で、24事業の実施内容とする。	(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進	カラダだけではなく、心の健康も大切。 健康寿命を延ばす(目標)	26 認知症予防講座の開催 ⇒認知症講座開催事業	(千円)	(千円)	(千円)	⊖		
本人の予防だけではなく、周りの人がどう接したらよいかという内容も含めて実施するため、事業名を「認知症講座開催事業」とする。			(千円)	(千円)	(千円)				
認知症を知ることが大事。予防ではなく知ること、自分事として捉えてもらう。			(千円)	(千円)	(千円)				
			(千円)	(千円)	(千円)				
			(千円)	(千円)	(千円)				
			(千円)	(千円)	(千円)				

委員名 生活環境WG

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 高齢者の日常生活を支える体制づくり

- ・民生委員で実施していた米寿のお祝いはなくなった。(88歳が多くなった。まだまだ若い。)
- ・見守りをしていて、必要な支援がわかることもある。 ・高齢者が地域で何に困っているかわからない。⇒支援の必要な人の発掘が大事。
- ・どうやったら困りごとがわかるか? ⇒実態の把握が難しい。(プライベートすぎる)
- ②日常生活支援の仕組みづくり 【事業名変更】日常生活支援事業 ⇒仕組みづくりは実施内容とする。
- ②日常生活支援事業の取り組みとして、すでに実施している電球を交換(花一輪の活動)を含めては?
[困りごと] ワクチンの予約、ゴミ出し、買い物、電球交換・・・。菊華園の車を借りて、低額で買い物サポートする活動あり。
- ・困ったときにどこへ連絡したらいいかわかるシステムがあればよい。⇒しかし、プライドがあるから、困っていても頼ってこない。
⇒地道にやっていくしかない。一気に利用が増える方法ない。
- ・自治会役員が負担で、高齢者が自治会をやめてしまう。 ⇒本当は、これからサポートが必要となるのに…。
- ・ニーズに対して、すべてまち協がやるのではなく、他のグループが実施している情報をお知らせする、配るのも手段の一つ。
- ・一般的なニーズは、市(ボランティアセンターなど)で把握している情報を得て、詳細、個別なニーズについてはアンケート実施。
- ②見守り体制の充実 ⇒②の仕組みづくりの一部と捉えられるので、②の実施内容に含む。
- ・お元気ですかコール ・見守りと防犯パトロールの連携が有効。 ・自治会の見守り活動は昼、夜、毎日、月1回などそれぞれ。
- ・家から出ない人との関わり、接する機会がない。⇒大山口地区社協はイベントを通じて顔見知りになろうとしているが、元気な人だから参加できる…。
⇒状況を把握して、助けてあげられる住みやすい大小区となるといいな。

(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進

④スポーツ・運動・体操を通じた健康づくり

- ・楽トレ体操、ラジオ体操の実施(コロナ禍でもできる) ・情報収集の場となる。 ・高齢者と子どもで夏休みのラジオ体操⇒学校ではやらなくなった。
- ・既存のラジオ体操にお誘いする。 ・健康寿命を延ばす(目標) ・心の健康も大切(集って和む)

⑤健康サークルづくり

- ・1から作るのは大変 ⇒ONスポーツクラブに参加、紹介、お誘い

⑥認知症予防講座の開催 【事業名変更】認知症講座開催事業 ⇒予防ではなく、まずは認知症がどういったものか知ることから始める。

- ・パンフレットを配って、講師を呼ぶことで実施は可能。 ・年に1~2回、大学の教授、専門家の講座を聞く。
- ・認知症を知ることが大事。 ・予防ではなく知ること、自分事として捉える。「明日は自分かも…(キャッチーなフレーズで)」

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	環境	ごみはそんなに落ちていないかもしれないが、みんなでやることに意義がある。		46 地域一斉ごみゼロ運動の実施事業	○	○	○		
				49 花植え活動の推進事業	○	○	○		
				47 公園美化清掃の実施				○	
				48 ゴミをなくす啓発活動 ⇒まち協での活動が啓発活動となる				⊖	
				50 地域猫の取り組み推進				○	
				51 環境意見交換会の開催 ⇒単独ではなく、49と絡めて実施する				⊖	
				(1) きれいで快適な環境づくり					
				公園や緑道の草木などを保全すると捉えてはどうか。					⊖
				花植えなどの活動を自然とのふれあいと捉えてはどうか。					⊖
				(2) 自然とのふれあい・保全活動の推進					
				自然という言葉が大きすぎる。発言者は金山落としを指していたようだが、(1)に統合してその中で取り組んでいく。					

委員名

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) きれいで快適な環境づくり

④⑥地域一斉ごみゼロ運動の実施

- ・自治会で取り組みが様々。各自治会が月1回ないし、2月に1回くらい統一して実施している。・年に1回でもまち協で実施してみてもは。
- ・ふれあい大松では、サロンができないため、散歩ウォーキングを兼ねて、ゴミ拾いを始めた。(月2回)
- ・草むしりをしている自治会もある。・毎日ゴミ拾いをしている人がいるので、ゴミが落ちておらず、散歩みたいになる。
- ・ごみはそんなに落ちていないかもしれないが、みんなでやることに意義がある。

51環境意見交換会の開催

- ・ごみゼロ関係の意見交換をしてみてもどうか?自治会同士でできるのでは?
- ・意見交換会(堅苦しい)という形ではなく、花植えなど活動しながら実施してみても? (他地区の話はとても参考になる)

④⑨花植え活動の推進

- ・全体的に“ゴミ”というより、きれいなまち(美化)をPRする方がよい。・実際は業者が清掃しているので、コミュニケーションづくりが目的。
- ・沿道の花植え、公園の花植えをしても、花の世話をしてくれる近所の人がいないとダメ。(水やりは大変。)
- ・花があると心が和む。子どもにもよい。・通勤していた頃はまちなんて気にしていなかったが、花がきれいに管理されていると防犯につながる。
- ・緑道、沿道を公共物として花を植えてきれいにする事で、人も集まる(見に行く)。
- ・沿道の花植えは別途市環境課の補助金(上限1万円)があるが、まち協として補助金を受けるため、重複してしまう。
- ・花いっぱい啓発活動はできる。学校敷地内に「まち協花壇」を設置して、見せることでまち協をPRする。

④⑧ゴミをなくす啓発活動

- ・どうしてゴミを捨てるのか。ごみ箱があっても捨てられる。少なくなっではいるがなくなる。ごみを捨てる人は、啓発活動ポスターは見ない。
- ・きれいなところは捨てられない。・ポスターよりも手本を見せる活動そのものが啓発活動。
- ・ごみゼロや花植えをする際、のぼりを出す⇒盛り上がる。知らない人にPR⇒啓発⇒上着(ビブス)を揃える。

(2) 自然とのふれあい・保全活動の推進という事業目標は、(1)の中で実践していく。(自然では大きすぎるので、緑くらいに置き換える)

- ・④⑥、④⑨、④⑧を合わせて、きれいなまちかど事業やごみゼロ快適事業という案もあった。「ごみゼロ運動」はインパクトがあるので残した方がよい。
- ・④⑧、⑤⑩、51を合わせて、快適環境事業という案もあった。

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体		
					R3	R4	R5	次期計画			
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	防犯		(1) 防犯情報の一元化による見える化の推進	1 防犯マップの作成 ⇒防犯マップ作成事業							
				2 防犯活動一覧の作成 ⇒防犯活動の一覧作成事業							
				3 空き家情報の作成							
				4 防犯カメラ設置一覧の作成							
				7 子ども110番の拡充							
				8 青パトによるパトロールの実施							
				5 見守りリーダー発足による活動							
				6 子どもの見守り活動							
				9 ウォーキング見回りの推進							
				10 夜の見回り活動							
				11 防犯グループの結成							
				(2) 見守り・見回り体制の充実							
				(3) 防犯意識の向上と犯罪抑止の環境づくり							
				(4) 防犯活動計画づくり							

委員名 安心安全WG

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 防犯情報の一元化による見える化の推進

①防犯マップの作成

・やりやすい。 ・防犯マップは作成したら公表する。予算を取って配るところまで実施内容とする。

②防犯活動一覧の作成

・やりやすい。 ・(2) 見守り・見回り体制の充実で実施する内容を一覧表にして見える化する。まずは作って見せる事が大事。
・見せることにより、他の自治会などの活動が広がる可能性があるため、まず先にやる。 ・取り組む順番は①と②の順番を入れ替える。
・防犯パトロールが自治会で意味があるのかと言われるので、各地区で実施している防犯活動を一覧でお知らせすることは大事。

③空き家情報の作成

・情報が漏れると逆に空き巣に入られる可能性あり。 ・自治会単位で管理すればよい。 ・省いてもよいとの意見もあったが、とりあえず次期計画へ。

④防犯カメラの設置一覧の作成

・そもそも防犯カメラの数が少ないのでは? ・商店街は設置実績あるが、自治会では実績なし。 ・公園への防犯カメラの設置の際、賛否分かれた。
・省いてもよいとの意見もあったが、とりあえず次期計画へ。

⑦子ども110番の拡充

・小学校の子どもがいる家庭に希望制で配っている。 ・増えすぎても管理が大変になる…。 ・おじいちゃん、おばあちゃんを活用することが大切。

⑧青パトによるパトロールの実施

・小学校PTAで年2回長期休業中に実施している。実施内容としては、運転できる人を増やす。

⑮防犯活動計画づくり

・防犯情報の一元化による見える化の推進に含むのはどうか? ・⑮はまちづくり計画自体なので、事業を削除する。

⑬大人向け防犯講習会の開催

・自治会では実施をしていて、まち協で実施しても誰も損はしないので、実施の方向で。

⑥子どもの見守り活動

・中学生になると親が働きに出るので、地域で見てくださいと保護者は助かる。

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	交通安全		(1) 交通安全情報の一元化による見える化の推進	1 6 危険マップの作成事業	○	○			
				[実施内容] 1.自治会単位で危険個所の情報収集、警察や学校等からの情報収集 (R3) 2.マップ作成・発信、情報の共有 (R4)	(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
			(2) 子どもと高齢者の見守りと交通安全意識の向上	1 7 子どもと高齢者向け交通安全教室・イベントの実施開催事業	○	○			
				1 8 通学時の見守り活動	○	○	○		
				[実施内容] 1.学校、PTA、自治会の3者が意見交換の場の設定(準備・検討) 2.3者の意見交換の実施	(千円)	(千円)	(千円)		
				[実施内容] 1.開催に向けてのイベントの準備 (R3) 2. イベント開催 (R4)	(千円)	(千円)	(千円)		
				子どもに限らず、高齢者も対象とし、事業目標、事業名とも、「子供と高齢者」とする。	(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		

委員名 安心安全WG

意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 交通安全情報の一元化による見える化の推進

⑩危険マップの作成

- ・警察の情報を基にした交通安全の危険個所マップあり。・小学校メインで作成している(中学校は作成せず)。・小学校は定期的に見回りしている。
- ・中学校は夏休みに見回り実施。・PTAで危険個所をまとめて市へ報告している。

[情報収集] ・警察署に聞く ・ヒヤリハットマップ活用(市役所のマップ活用) ・アンケートをとる(学校) ・学校の情報

- ・目標は交通事故ゼロ。 ・情報を集めてマップに反映させる。 ・公表して配る。(予算を取る)

[実施内容] 1.情報提供を求める 2.学校でアンケートを取る 3.マップに落とす

- ・ゴールが見えないと取り組みにくい。⇒ やってどういう意味があるの?に答えられる活動を。
- ・1.自治会単位で危険個所の情報収集、警察や学校等からの情報収集 (R3) 2.マップ作成・発信、情報の共有 (R4)

⑪子ども向け交通安全教室・イベントの実施

- ・交通安全教室は学校で実施している。小学校は信号、中学校は自転車の乗り方。 ・地域でイベントがあった方が、新しい視点、発見がある。

・【事業名】子どもと高齢者向け交通安全教室・イベントの開催事業、【事業目標】子どもと高齢者の見守りと交通安全意識の向上

- ・1.開催に向けてのイベントの準備 (R3) 2.イベント開催 (R4)

⑫通学時の見守り活動

- ・実施場所は横断歩道など。 ・小学校は順番で毎日実施、中学校は実施なし。 ・小学生は徒歩、中学生は自転車(時差通学)
- ・地域の方(近所の年配者)が見てくれたらうれしい。 ・中学生の自転車マナーがあまりよろしくない。 ・大松地区は通り抜けとなっている。

・学校の先生の意見も聞きたい(一緒にテーブルに着きたい)。

- ・1.学校、PTA、自治会の3者が意見交換の場の設定(準備・検討) 2.3者の意見交換の実施

- ・まち協が間に入って声掛けする。 ・タスキやビブスでもあれば、役割が明確となる。(注意や声掛けができる。)

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体		
					R3	R4	R5	次期計画			
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	防災	各自治会の防災担当の当事者同士の顔合わせ及び設立	2 7 防災組織の設立	2 7 防災組織の設立	○	○	○				
				(千円)	(千円)	(千円)					
				2 8 緊急時の対応ルールと仕組みづくり		○	○				
				(千円)	(千円)	(千円)					
				2 9 防災リーダーの発掘・養成					⊖		
				⇒ 2 7 の取り組み項目に含める							
				(千円)	(千円)	(千円)					
				(1) 地域防災体制の整備							
					(千円)	(千円)	(千円)				
					(千円)	(千円)	(千円)				
					(千円)	(千円)	(千円)				
				3 0 防災訓練の開催							
(千円)	(千円)	(千円)									
3 1 防災講習会の開催		○	○								
(千円)	(千円)	(千円)									
3 2 防災啓発活動の実施						⊖					
⇒ 3 0 の取り組み項目に含める											
(千円)	(千円)	(千円)									
(2) 地域防災意識の向上											
	(千円)	(千円)	(千円)								
	(千円)	(千円)	(千円)								
	(千円)	(千円)	(千円)								

委員名

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	防災	「28 緊急時の対応ルールと仕組みづくりにちじょう」と「29 防災リーダーの発掘・養成」については、「27 防災組織設立運営事業」の実施内容として取り組む。 まち協でルールを作るのではなく、設立後の防災組織でルールづくりをするのがよいのでは？	(1) 地域防災体制の整備	27 防災組織の設立【事業名修正】 ⇒ 防災組織設立運営事業	(千円)	(千円)	(千円)		
				28 緊急時の対応ルールと仕組みづくり ⇒27に統合	(千円)	(千円)	(千円)		
				29 防災リーダーの発掘・養成 ⇒27に統合	(千円)	(千円)	(千円)	○	
				自治会からリーダーを選ぶ。既存組織を巻き込みたい。防災組織の連合化が必要。	(千円)	(千円)	(千円)		
				(千円)	(千円)	(千円)			
				(千円)	(千円)	(千円)			
		コロナ禍で人を集めることは難しいので名称を“開催事業”とはできない。防災訓練事業としてできることを行う。 防災意識の向上が大事。	(2) 地域防災意識の向上	30 防災訓練の開催【事業名修正】 ⇒ 防災訓練事業	(千円)	(千円)	(千円)		
				31 防災講習会の開催【事業名修正】 ⇒ 防災講習会事業	(千円)	(千円)	(千円)		
				32 防災啓発活動の実施【事業名修正】 ⇒ 防災啓発事業	(千円)	(千円)	(千円)	○	
				防災だよりの発行なら、当初3年間の活動も可能では？	(千円)	(千円)	(千円)		
				(千円)	(千円)	(千円)			
				(千円)	(千円)	(千円)			

委員名 生活環境WG

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 地域防災体制の整備

㉗ 防災組織の設立

「設立」の表現はあったほうがよい。設立後は「運営」が必要では？ ⇒ 【事業名】防災組織設立運営事業

㉘ 防災リーダーの発掘・養成

- ・自治会からリーダーを選ぶ ・防災担当は変わらない ・市からの防災の補助はなし ・防災会だけは入会するケースもあり
- ・小学校区の防災会がまち協に加わるイメージ ・防災会は、まち協の組織では？ ・各防災会≒自治会 ・防災会は連合組織ではない⇒連合化は必要。
- ・既存組織を巻き込むことは難しい⇒合同夏祭りのイメージで実施しては？ ・㉗の運営の中で、参加者を募ることも可能では？⇒よって㉘は不要では？
(㉗と㉘を統合する)

㉙ 緊急時の対応ルールと仕組みづくり

- ・防災組織でルールを作ってはどうか⇒㉗の運営に含めては？ (㉗と㉙を統合する)

㉚ 防災組織設立運営事業の実施時期と予算については、未定。

(2) 地域防災意識の向上

㉛ 防災訓練の開催

- ・コロナ禍で人を集めることは難しい⇒【事業名】防災訓練事業

㉜ 防災講習会の開催

【事業名】防災講習会事業 (←意識向上)

㉝ 防災啓発活動の実施

【事業名】防災啓発事業⇒防災だよりの発行なら可能では？

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	防災	防災組織とは、既存組織を束ねる組織なのか？新規立ち上げなのか？どういった組織なのか、はっきりさせる必要あり。 ルールはまち協だけでなく、防災組織も考えていく必要がある。 「27防災組織の設立」、「28緊急時の対応ルールと仕組みづくり」、「29防災リーダーの発掘・養成」については、「災害対策仕組みづくり事業」の実施内容として取り組む。 周知方法の工夫が必要。特に自治会未設置、自治会未加入へどう周知するか。 体制の整備よりも意識の向上が先と考える。統合した事業内なるべく早い時期に実施すべき内容と思われる。	(1) 地域防災体制の整備 (2) 地域防災意識の向上	27 防災組織の設立	(千円)	(千円)	(千円)		
				28 緊急時の対応ルールと仕組みづくり	(千円)	(千円)	(千円)		
				29 防災リーダーの発掘・養成	(千円)	(千円)	(千円)	○	
				27・28・29 ↓ 合わせて	(千円)	(千円)	(千円)		
				災害対策仕組みづくり事業	(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
				30 防災訓練の開催	(千円)	(千円)	(千円)		
				31 防災講習会の開催	(千円)	(千円)	(千円)		
				32 防災啓発活動の実施	(千円)	(千円)	(千円)	○	
				30・31・32 ↓ 合わせて	(千円)	(千円)	(千円)		
				地域住民の意識向上事業	(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		

委員名 地域活性化WG

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 地域防災体制の整備

㉗ 防災組織の設立

- ・ 防災組織とは、既存組織を束ねる組織なのか？ ・ ㉘と合わせてもよい

㉘ 緊急時の対応ルールと仕組みづくり

- ・ 緊急時とは？災害時とは？ ・ 避難できない人をどう助けるか ・ 困った時に助けてくれるところがあるという認識をする ★地域住民の意識向上が大切
- ・ ㉗と合わせてもよい ・ ルールはまち協だけでなく、防災組織でも考えていく必要がある

㉙ 防災リーダーの発掘・養成

- ・ ㉗、㉘、㉙合わせて、【事業名】災害対策仕組みづくり事業

(2) 地域防災意識の向上

㉚ 防災訓練の開催

- ・ 周知方法の工夫が必要 ・ 一度参加すると意識に変化

㉛ 防災講習会の開催

- ・ ㉚と合わせてもよい

㉜ 防災啓発活動の実施

- ・ 先に取り組む方がよい ・ 体制の整備よりも意識の向上が先 ・ 意識が上がらないと意味がない ・ 停電、水、ガスなどライフラインのストップした場合への備え
- ・ 自治会加入者は自治会に防災組織があり、避難訓練を行っている可能性があるため、自治会に入っていない人や自治会のない地区の人ほどまち協の防災訓練に参加してほしいが、どう周知するのか。
- ・ ㉛と合わせてもよい

【事業名】地域住民の意識向上事業

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	地域の交流・活性化	設立当初は、祭りとスポーツを実施内容として進める。 現状、食事に関する事業は不可。次年度以降取り組む。 ふれあいスポーツに置き換えて、33の事業に統合し実施する。		3 3 世代を超えて交流できるイベントの開催 ⇒ 世代を超えたイベント企画運営事業	△	○	○		
				3 4 食事を通じた交流機会の創出 ⇒ 食事を通じた交流機会の創出事業	×	○	○		
				3 7 若者とシニアの集いの場の開催 ⇒ 3 3と統合					
		(1) 地域でつながる交流・イベント活動の推進	3 5 サロンの充実					○	
			3 6 交流サークルづくり					○	
			3 8 講座等の開催					○	
		子育て世代交流支援事業として、一括で検討。 地区社協でサロンを検討したことがある。場所の確保必要。	(2) 子育て世代が交流できる機会づくり	4 0 イベントの開催 (子育て世代) ⇒ 4 1と統合					
				4 1 サロンの開催 (子育て世代) ⇒ 子育て世代交流支援事業	△	○	○		
				3 9 講座等の開催 (子育て世代)					○
		空きスペースと公園を地域資源で活かし、1つの事業とする。 元々は中木戸公園がもっていないという課題からのアイデア。	(3) 地域資源を活用した交流の推進 公園活用について、単独の事業として残したいという意見もあった。	4 2 空きスペースを活用した交流の場づくり ⇒ 地域資源活用事業	△	○	○		
				4 3 公園を活用した交流の場づくり ⇒ 4 2と統合					
				4 4 広報紙等による情報発信 ⇒ 地域活動広報事業	○	○	○		
		媒体の違いなので、地域活動広報事業としてまとめる。	(4) 地域の情報共有・発信の仕組みづくり	4 5 SNSによる情報発信 ⇒ 4 4と統合					

委員名

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

(1) 地域でつながる交流・イベント活動の推進

- ・未就学児の親世代の交流機会が少なく感じる。⇒ 保育園や幼稚園は、運動会などイベントはあるが交流会はない。・親は送り迎えで精一杯。
- ・小学校にはおやじの会、英幼稚園にはパパ'sクラブがある。おやじの会は昔バス1台借り上げて潮干狩りに行ったりしたが、現在は投てき板の塗り替えや花壇の整理など奉仕活動的なものに移行。・子を預けられるなど困った時の情報がほしい。・仲間がいる安心感。
- ・幼稚園、保育園は大小学区以外の人も多く、対象として考えるならば、就学後を対象とした方が現実的(大小中心)である。
- ・夏祭りは、一部の人が楽しむ催しではだめ。交流となるとよい。・盆踊りをやぐらを建ててやるのか。盆踊りする人は少ない。
- ・盆踊りをなくして別のものを企画。ステージを設置して、ヒップホップダンスとか各団体の目標のステージになるとよい。白井駅前祭りはステージあり。
- ・祭りに来てもスマホいじりしている。・自由に参加できる雰囲気作りが大事。

③4 食事を通じた交流機会の創出

- ・ふれあい食事は地区社協で実施しているが、密になるため11月までの行事は中止となっている。⇒食事は現状難しいため令和4年度以降実施。

⑦ 若者とシニアの集いの場の開催

- ・新規のイベント企画は難しい。既存の活動の「ふれあいスポーツ」を活用する。ふれあいスポーツは、雨天だと活動できない場合があるので、室内でできるものと考えてペタンクを実施している。オープンスペースより室内の閉じられた空間だからこそ、関係性が深まる効果がある。
- ・地区社協でグラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げを実施している。楽しむ参加は多いが、準備、手伝いと少ない。
- ・ペタンクは人気がある。グラウンドゴルフも人気だが、高齢者が多い。・小規模イベントなら業者を使うこともできるが、準備での交流はなし。
- ・子育て世代のやる気を引き出さないと活性化しない。シニアばかり頑張っても…。・PTAとかと連携して交流を深める。どこに入口を作るか。
- ・年1回の夏まつりがつながりになる。子どもたちは同窓会的、クラス会的につながる。
- ・④0 イベントの開催(子育て世代)、④1 サロンの開催(子育て世代)は分けて考える必要ないので1つにまとめる。
- ・西白井複合センターにサロンがあり、地区社協でもサロンができたらいいなと考えたが、実現は難しかった。今でも、できたらいいなと…。
- ・④2 空きスペースを活用した交流の場づくり、④3 公園を活用した交流の場づくりはひとつでいいのでは。
- ・④3 は単独で残してほしい。遊具、健康器具を置いてほしい。健康器具があることで日課につながる。・元々④3 は中木戸公園がもっていないという話。
- ・高齢者と子どもが集える公園ができれば、犯罪抑止にもなる。自分たちでやらずとも、要望していくでもよい。
- ・④4⑤ は手段の違いなので、1つにまとめる。
- ・初年度からすぐできる。

将来像	分野	基本方針	事業目標	事業名	上段:実施年度 下段:予算(千円)				実施主体
					R3	R4	R5	次期計画	
世代をこえて支え合う笑顔あふれるまち	地域活動の参加者・担い手	[事業名] 54・55・56を統合して、イベント企画・運営事業とする。 イベントの企画運営が入口づくりにつながる。	(1) 地域人材の発掘・育成・活躍の機会づくり	5-4 地域人材登録・サポーター制度の運用 ⇒56へ統合	(千円)	(千円)	(千円)		
				5-5 地域リーダーの育成 ⇒56へ統合	(千円)	(千円)	(千円)		
				5-6 地域活動の入口づくり ⇒イベント企画・運営事業	(千円)	(千円)	(千円)		
				5-7 声かけ活動の推進	(千円)	(千円)	(千円)		
				5-8 企業連携による人材確保	(千円)	(千円)	(千円)	○	
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
					(千円)	(千円)	(千円)		
		(2) 地域活動に導く方法・取り組みの検討・発信	5-9 地域活動(共助)に導く方法・取り組みを検討し、発信	(千円)	(千円)	(千円)	○		
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					
	(千円)		(千円)	(千円)					

委員名 地域活性化WG

■意見記入欄(まちづくり計画変更等に関する意見や理由を書き留めてください)

※意見を記入する際は、どの事業に対する意見かわかるよう、事業名の番号を丸数字で記入してください。

地域活動の参加者・担い手について

- ・積極的に自治会活動に参加する意識がない方が多い(やらされ感) ⇒ 担い手のニーズをどう拾うか

(1) 地域人材の発掘・育成・活躍の機会づくり

56 地域活動の入口づくり

- ・地域活動の入口づくりで意識を持ってもらう。 ・子ども会 ・地域対抗のイベント ・「担い手」だと負担感があるので、「楽しむ」というカタチで。
- ・若い世代が中心になるような行事があるとよい。 ・イベント+打ち上げ=盛り上がる
- ・まず入口づくりが重要

55地域リーダーの育成

- ・地域リーダーの育成からはじめるのは難しい。イベント等を通じて、リーダーとなりうる人材を発掘した方がよい。
- ・コロナ禍で地域のつながりに関する機運は高まっている⇒良いタイミング

54・55・56を統合して、【事業名】 イベント企画・運営事業(入口づくりにつながる) ※地域の交流・活性化③・④・⑦に共通

- ・一過性ではなく、継続して実施できるもの ①世代の交流を進めるため ②地域活動の参加者をふやすため を目的とした事業

[対象者]

- ①年配の方々
- ②子育て世代・・・就学児/未就学児
- ③単身

[事業のつながり]

イベント企画運営 ⇒ 入口・楽しいこと ⇒ (仕組み化) ⇒ 活性化 ⇒ リーダー育成